

# 発表要旨

## 地域教育の改善： エンパワメントと公正を求めて - タイの事例研究

ジェラルド・W・フライ

米国ミネソタ大学教育人間開発校組織リーダーシップ・政策・開発学部教授



「価値の前提と仮定を明示すること」が非常に重要  
(グンナー・ミュルダール、スウェーデンのノーベル賞受賞者)

私にとって重要な「価値の前提と仮定」:

黒い金 (Black Gold) (社会正義、平等、公正、万人のためのアクセス)

黄色い金 (Yellow Gold) (文化保護・文化的民主主義、文化知識・能力の開発、「心のソフトウェア」の開発)

青い金 (Blue Gold) (持続可能な開発、足るを知る経済、きれいな空気と水)

緑の金 (Green Gold) (森林保護、社会林業、グリーン・キャンパスの開発、マヒドルなど)

質の高い教育と人材開発が国家の国際競争力の核となる。

タイ東北部や農村地帯に、未知の人間の潜在能力、発掘されていない才能が豊富にある。

教育改善における地域社会の役割に関する主要な概念枠組み

ジェームズ・スコットの “Seeing Like a State” “Weapons of the Weak”

ベン・アンダーソンの『想像の共同体』

ラミレス&カステニェダの “Cultural Democracy”

ヴァヴルス&バートレットの “Vertical Case Studies”

ギアツの『ローカル・ノレッジ』

地域社会のジャンル:

生徒の保護者

地域の行政機関 (TAOs)

地域の政治家

自治体職員

宗教団体

地域に関する知識を持った人々 (例: コラート周辺の古代遺跡・ピマイの老人会、)

地域の黒幕 (Jaw Por)

学齢期の子どもがいない地域住民

地域の財界 (例: 建設業者)

主な原則

財政上の中立: 教育の質は住む場所に左右されてはならない。

公正（ロールズ）：制度は公正であるべき。差別的待遇があってはならない。

平等（ルソー）：教育の質は家族の社会経済的地位に左右されてはならない。

エンパワメント（フレイレ）：地域住民の声を聞かねばならない。

最も恵まれない人々にまず手をさしのべる（Putting the Last First『第三世界の農村開発』）（チェンバース）：恵まれない僻地の声を聞く。マハー・チャクリ・シリントーン王女が示した「タイにおける最も恵まれない15のグループ」

## タイの背景

シャムは一度も植民地にならなかった。外国からの多様な影響。

チュラロンコーン王時代の大きな教育改革によって、中央集権化の歴史が始まった。

### 「タイの5つの顔」

地域格差が根強く残っており、東北部（イサーン）が遅れている。「国内植民地主義」の問題。地域格差の高いV（変動係数）（1.30）；タイでは、預金の42%がたった35000人強の人々に占められ、人口の20%が資産の70%を所有している（Seksan）；ピーター・ウォーの研究：東北部は最近のグローバルな経済危機の悪影響を受けている。

1998年の国家教育法が改革の指針となる。進歩的な教育理念と原則を的確に記述。

## 最近の動きと問題

論争的となったタクシン博士の政策と、彼の革新的なポピュリズム（タクシノミクス）。

北部および東北部、特に農村部の人々に人気。評価が分かれるタクシン博士。

タクシン博士のプログラムは教育を重視しておらず、対象ともしない。

12年後に教育改革を評価。地方レベルでどれほど実行されたか。羅生門効果（黒沢、芥川）：同じデータを見て、異なる解釈をする。

## 教育改善に地域社会が関わった事例研究

イスラム・ラム・サイ環境学校

地域社会と学校が連携して森林破壊問題に取り組む（教育省とミシガン州立大学のプロジェクト。

McDonough, Wheeler, 1998年）

スアンモック寺の役割（チャイヤで）

国連開発計画とフロリダ州のプロジェクトは教育委員会の役割を重視

総合的害虫管理（IPM）の事例研究

様々な「足るを知る経済」の事例；例 学校菜園

地域社会と協力し、地域の能力を高め、農村から都市への人口流動を減らすことをめざした、

PDA（人口・地域社会開発協会）の革新的なプロジェクト「タイ農村開発ビジネスイニシアティブ（T-BIRD）」

大学（特にラチャパット大学）・地域社会・学校間の協力の可能性。しかし大学は押しつけないように、また横柄にならないように注意しなければならない。

## 教育改善に果たす地域社会の役割に関する主な課題

質と妥当性の重大な課題

財政の分権化に対する予算の分権化

地域の教育者たちは、地域の教育に TAO の権限を与えることに抵抗

地方教育地区 (LEAs)：地方レベルで再集権化？

地域のカリキュラム開発 (国家教育法)；カリキュラムの 33%は地域で作成できる。

地方の文化や言語を振興・保存

自律的学校運営 学校運営に保護者が参加；子どもたちのニーズを保護者が理解；保護者は我が子のニーズを本当に理解しているか？ 学校監督における保護者の役割；募金活動における地域社会の役割

タイの教育委員に関する Gamage & Pachrapimon の調査

インドネシアにおける地域社会の学校参加に関する世界銀行の調査 (自律的学校運営のベストプラクティス)

## 教育分権化のジャンルに関する四面体モデル

分権化の 4 つのジャンル：

財政の分権化

予算の分権化

財政と予算の分権化は重要な点で異なる。「財政の分権化」では、地方は教育費を担うことが期待されるが、「予算の分権化」では国庫から地方に教育費が提供され、地方はその運用を任される。地域格差が深刻な国々では、「財政の分権化」は大きな不平等につながる傾向がある。

人事の分権化

カリキュラムの分権化

## 東北部 (イサーン) の教育に関する主要な問題

文化的・人的・知的資本の低いレベル (Bordieu, Lin) (バンコク・韓国を参照)

不便な僻地の教員になるインセンティブの不足 (Khamman, “The Rural School Teacher (地方学校の教員)”) 最も恵まれない地域を対象とした補償金がない；地域社会が教育に関わり始めるためにはインセンティブが必要

教育や生活の機会が限られている

教員の借金

## 新しい政策展開

アピシット政権はさらに分権化を推進し (政府予算における地方交付金の割合を増やす)、教育を改善することを約束

「国民アジェンダ」の考え方を明確化；国民のニーズに独創的に対応

国家改革議会 (プラワセ議長) の主な提言：

土地銀行、コミュニティ土地所有、コミュニティ司法、高齢者支援の福祉政策、出稼ぎ労働者…

財務リテラシーの推進（消費主義より人的資源に多く投資するようになるかもしれない）

ライス・ルーツ的社会活動家 Ms. KrarokPongnoi の批判

過度のトップダウン式な管理

金権主義の開発

より大きな地方自治体、より小さな中央政府が必要

教育改善における地域社会の将来的な関わり

エンパワメントと公正の両方に対して、政府は真摯に取り組むことが必要

恵まれない地域社会に活動資源を提供するための効果的な補償措置が必要

国の将来を担う人材の開発に対する真摯な取り組みが必要

「万人のための教育」の理想を実現するには、企業、大学、地域の専門家たち、宗教団体、学校、地域社会など、多様な関係者と効果的に連携することが必要

地域教育の改善：  
エンパワメントと公正を求めて  
タイの事例研究

ジェラルド・W・フライ  
ミネソタ大学教育人間開発校  
組織リーダーシップ・政策・開発学部

第8回国際教育協力日本フォーラム  
2011年2月3日 東京



あなたがたが疑うのも当然です。不確かだと思ふのも当然です・・・ 権威ある伝統だからといって信じてはいけません。よく言われていることだからといって信じてはいけません。噂や聞き伝えを信じてはいけません。経典に書いてあるからといって信じてはいけません。自分が信じている考え方と同じだからといって信じてはいけません。名声ある人が言っていることだからといって信じてはいけません。先生がかくかくしかじかと言ったからといって信じてはいけません。自分で実際に経験しなさい。

仏陀  
カラマ・スッタ

言葉は、独白を超えて対話にならなければ、単なる言葉でしかない。現実の人間同士の対話が行動の種となる。  
(Somsak, p. 135)

“権力の集権化は発展の  
大きな障害となる”

Seksan Prasertkul  
2010年12月19日

「価値の前提と仮定を明示すること」が  
非常に重要  
(ガンナー・ミュルダール、スウェーデンの  
ノーベル賞受賞者)

私にとって重要な「価値の前提と仮定」

黒い金 (Black Gold) (社会正義、平等、公正、万人のためのアクセス)

黄色い金 (Yellow Gold) (文化保護・文化的民主主義、文化知識・能力の開発、「心のソフトウェア」の開発)

青い金 (Blue Gold) (持続可能な開発、足るを知る経済、きれいな空気と水)

緑の金 (Green Gold) (森林保護、社会林業、グリーン・キャンパスの開発、マヒドルなど)

### 私にとって重要な「価値の前提と仮定」

質の高い教育と人材開発が国家の国際競争力の核となる。

タイ東北部や農村地帯に、未知の人間の潜在能力、発掘されていない才能が豊富にある。

### 教育改善における地域社会の役割に関する主要な概念枠組みのいくつか

ジェームズ・スコットの“Seeing Like a State”  
“Weapons of the Weak”  
ベン・アンダーソンの『想像の共同体』  
ラミレス&カステニェダの“Cultural Democracy”  
ヴァヴルス&パートレットの“Vertical Case Studies”  
ギアツの『ローカル・ノレッジ』

### 地域社会のジャンル

生徒の保護者  
地域の行政機関(TAOs)  
地域の政治家  
自治体職員  
宗教団体  
地域に関する知識を持った人々(例:コラート周辺の古代遺跡・ピマーイの老人会)  
地域の黒幕(Jaw Por)  
学齢期の子どもがいない地域住民  
地域の財界(例:建設業者)

### 主な原則

- ・財政上の中立:教育の質は住む場所に左右されてはならない。
- ・公正(ルールズ):制度は公正であるべき。差別的待遇があってはならない。
- ・平等(ルソー):教育の質は家族の社会経済的地位に左右されてはならない。
- ・エンパワメント(フレイレ):地域住民の声を聞かねばならない。
- ・最も恵まれない人々にまず手をさしのべる(Putting the Last First『第三世界の農村開発』)(チエンバース):恵まれない僻地の声を聞く。マハー・チャクリ・シリントーン王女が示した「タイにおける最も恵まれない15のグループ」

### タイの背景

シヤムは一度も植民地にならなかった。外国からの多様な影響。

チュラロンコーン王時代の大きな教育改革によって、中央集権化の歴史が始まった。

「タイの5つの顔」

地域格差が根強く残っており、東北部(イサーン)が遅れている。「国内植民地主義」の問題。地域格差の高いV(変動係数)(1.30); タイでは、預金の42%がたった35000人強の人々に占められ、人口の20%が資産の70%を所有している(Seksan); ピーター・ウォーの研究:東北部は最近のグローバルな経済危機の悪影響を受けている。

1998年の国家教育法が改革の指針となる。進歩的な教育理念と原則を的確に記述。



## 最近の動きと問題

論争の的となったタクシン博士の政策と、彼の革新的なポピュリズム(タクシノミクス)。北部および東北部、特に農村部の人々に人気。評価が分かれるタクシン博士。  
タクシン博士のプログラムは教育を重視しておらず、対象ともしていない。  
教育汚職。  
12年後に教育改革を評価。地方レベルでどれほど実行されたか。羅生門効果(黒沢、芥川):同じデータを見て、異なる解釈をする。



## 教育改善に地域社会が関わった事例研究

イスラム・ラム・サイ環境学校  
地域社会と学校が協力して森林破壊問題に取り組む(教育省とミシガン州立大学のプロジェクト McDonough, Wheeler 1998年)  
スアンモック寺の役割(チャイヤで)  
国連開発計画とフロリダ州のプロジェクトは教育委員会の役割を重視  
総合的害虫管理(IPM)の事例研究  
様々な「足るを知る経済」の事例;例 学校菜園



## 教育改善に地域社会が関わった事例研究

地域社会と協力し、地域の能力を高め、農村から都市への人口流動を減らすことをめざした、PDA(人口・地域社会開発協会)の革新的なプロジェクト「タイ農村開発ビジネスイニシアティブ(T-BIRD)」

大学(特にラチャバット大学)・地域社会・学校間の協力の可能性。しかし大学は押しつけないように、また横柄にならないように注意しなければならない。



## 教育改善に果たす地域社会の役割に関する主な課題

質と妥当性の重大な課題  
財政の分権化に対する予算の分権化  
地域の教育者たちは、地域の教育にTAOの権限を与えることに抵抗  
地方教育地域(LEAs):地方レベルで再集権化?  
地域のカリキュラム開発(国家教育法)  
地方の文化や言語を振興・保存



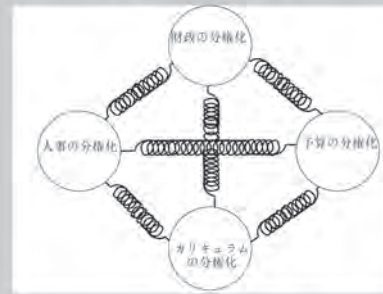
## 教育改善に果たす地域社会の役割に関する主な課題

自律的学校運営; 学校運営に保護者が参加; 子どもたちのニーズを保護者が理解; 学校監督における保護者の役割; 募金活動における地域社会の役割

タイの教育委員に関するGamage & Pachrapimonの調査

インドネシアにおける地域社会の学校参加に関する世界銀行の調査(自律的学校運営のベストプラクティス)

## 教育分権化のジャンルに関する四面体モデル



## 東北部(イサーン)の教育に関する主要な問題

文化的・人的・知的資本の低いレベル  
(Bourdieu, Lin) (バンコク・韓国を参照)

不便な僻地の教員になるインセンティブの不足  
(Khamman, "The Rural School Teacher (地方学校の教員)")

最も恵まれない地域を対象とした補償金がない;  
地域社会が教育に関わり始めるにはインセンティブが必要

## 東北部(イサーン)の教育に関する主要な問題

教育や生活の機会が限られている

教員の借金

## 新しい政策展開

アピシット政権はさらに分権化を推進し(政府予算における地方交付金の割合を増やす)、教育を改善することを約束

「国民アジェンダ」の考え方を明確化; 国民のニーズに独創的に対応

## 新しい政策展開

国家改革議会(ブラワセ議長)の主な提言:  
土地銀行、コミュニティ土地所有、コミュニティ司法、高齢者支援の福祉政策、出稼ぎ労働者...

財務リテラシーの推進(消費主義より人的資源に多く投資するようになるかもしれない)



ライス・ルーツ的社會活動家  
Ms. Krarok Pongnoiの批判

過度のトップダウン式な管理  
金権主義の開發

より大きな地方自治体、より小さな中央政府が必要

教育改善における地域社會の将来的な関わり

エンパワメントと公正の両方に対する、政府の真摯な取り組み

恵まれない地域社會に活動資源を提供するための効果的な補償措置

国の将来を担う人材の開發に対する真摯な取り組み

「万人のための教育」の理想を実現するには、企業、大学、地域の専門家たち、宗教団体、学校、地域社會など、多様な関係者と効果的に連携することが必要

ご清聴ありがとうございます!

ジェラルド・W・フライ  
ミネソタ大学 教育人間開發校  
組織リーダーシップ・政策・開發学部

gwf@umn.edu  
612-624-0294